



人を想い、  
地球を想う。

# 第102期 年次報告書

平成28年4月1日から平成29年3月31日まで



三ツ星ベルト株式会社

## 円高の影響を受けるも、4期連続で過去最高益。 真の競争力を構築し、よりよい製品づくりとコスト競争力アップに努めます。

株主のみなさまには、平素格別のご高配を賜り、厚くお礼申しあげます。

第102期の概況をお届けするにあたりまして、株主のみなさまのご懇情に心からお礼申しあげます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用・所得環境の改善が続かなかで、緩やかな回復基調で推移しましたが、一方では、株価や為替の乱高下、原油価格の動向などにより不安定な状況が続きました。

海外においては、中国をはじめとするアジア新興国の経済成長の鈍化、米国新政権による金融や経済政策の影響など、世界経済の不確実性から景気は不透明な状況で推移いたしました。

このような環境のもと、当社グループはアジア圏を中心とした成長市場における販売活動を強化するとともに生産体制の再構築を推進し、経営の効率化と一層のコスト削減に取り組んでまいりました。

今後の企業を取り巻く環境は、国内経済は緩やかな景気回復が続くと見込まれていますが、海外情勢により株価や為替の著しい変動による影響や原油価格の動向に伴う懸念など景気の先行きは不透明な状況です。

海外においても、米国の経済政策による影響、英国のEU離脱問題、中国をはじめとするアジア新興国経済の成長の鈍化など、海外諸国の政治情勢が絡んだ世界経済はこれまで以上に不透明感と予断を許さない状況が予想されます。

当社グループでは、原油価格の高騰による原材料コストの増加や人件費高騰など収益の圧迫が懸念されますが、このような状況に対応するため、当社グループ全体で一段と経営の効率化とコスト削減に取り組むとともに、柔軟な生産体制の確立と販売体制の強化並びに強固な財務体質づくりを推進いたします。また、次世代の産業分野のニーズに対応できる「高機能、高精密、高品質な製品づくり」を目指すため、引き続き研究開発体制の強化・充実を図り、業績の確保に努めてまいります。

株主のみなさまには、今後とも一層のご指導とご鞭撻を賜りますよう、お願い申しあげます。

平成29年6月



代表取締役会長

西河 紀男



代表取締役社長

垣内 一

## 連結業績概況

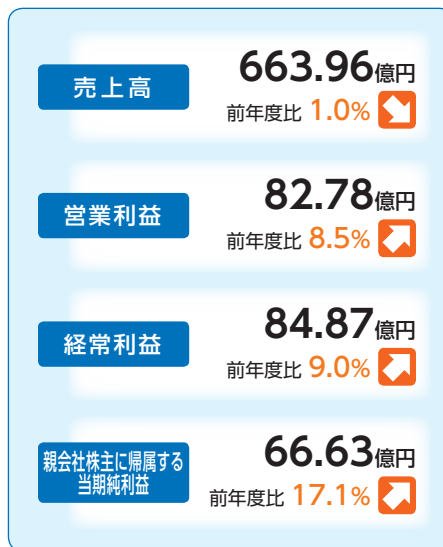
当連結会計年度の当社グループの業績は、売上高663億96百万円(前連結会計年度比1.0%減)、営業利益82億78百万円(前連結会計年度比8.5%増)、経常利益84億87百万円(前連結会計年度比9.0%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は66億63百万円(前連結会計年度比17.1%増)となりました。

財政状態については、当連結会計年度末は、現金及び預金の増加等により流動資産が23億63百万円、固定資産が2億71百万円とそれぞれ増加したことから、総資産は前連結会計年度末比26億34百万円増加の899億12百万円となりました。

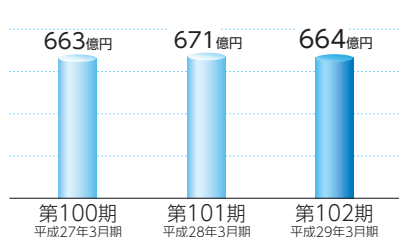
また、負債は、借入金の減少等により、前連結会計年度末比7億51百万円減少の267億76百万円となりました。

純資産は、自己株式の消却により資本剰余金が18億16百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が52億37百万円増加した結果、前連結会計年度末比33億86百万円増加の631億36百万円となりました。

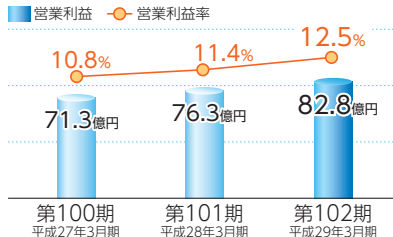
以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末の68.5%から70.2%に上昇しました。



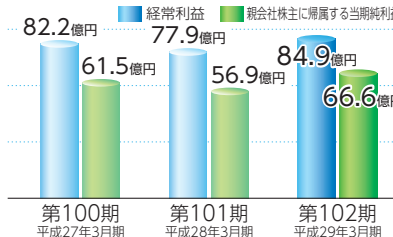
▶ 売上高



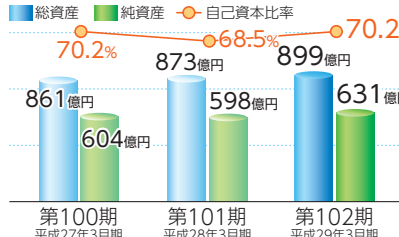
▶ 営業利益・営業利益率



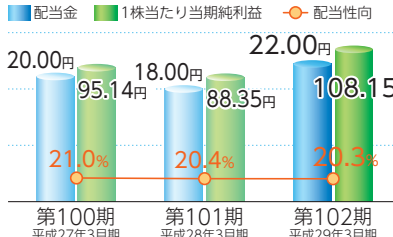
▶ 経常利益・親会社株主に帰属する当期純利益



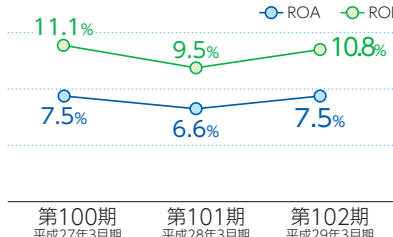
▶ 総資産・純資産・自己資本比率



▶ 配当金・1株当たり当期純利益・配当性向

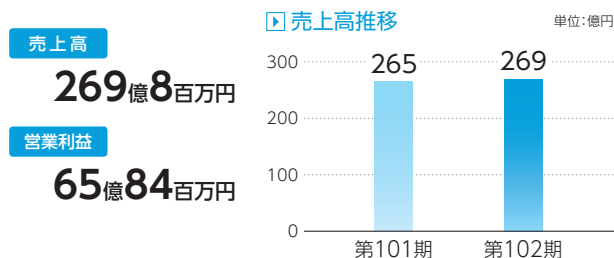


▶ ROA (総資産利益率)・ROE (自己資本利益率)



# 事業部門別状況

## 国内ベルト事業



自動車用ベルトは、組み込みライン用の売上高はベルト非装着車種の影響があったものの、新機種への採用などから、前連結会計年度並みで推移しました。一方、補修用はバス・トラック向けの需要が増加したことから、全体では増加しました。

OA機器用ベルトは、ユーザの中国市場向け機種の減少の影響などから売上高は減少しましたが、一般産業用ベルトは、射出成形機向け大型タイミングベルトの拡販などにより売上高が増加しました。

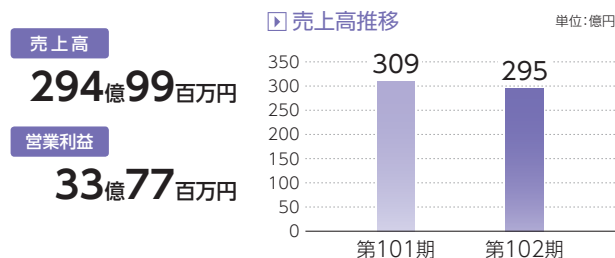
また、合成樹脂素材は半導体・液晶製造装置向けの売上高が増加したものの、一部の仕入商品の販売が減少したことから、全体では減少しました。一方、搬送ベルトは食品業界に加え、空港や物流センターなどの物流用途向けも好調であったことから売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は269億8百万円（前連結会計年度比1.4%増）、営業利益は65億84百万円（前連結会計年度比3.4%減）となりました。



耐熱性、耐摩耗性、耐変形性に優れ、トラック、バスなどのさまざまな補機駆動用途に使用される“ローエッジVベルト”

## 海外ベルト事業

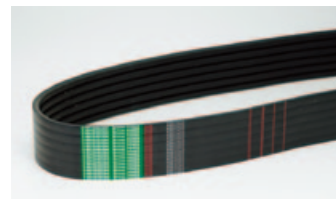


米国では、一般産業用ベルトの売上高は農業機械用を中心に増加し、自動車用ベルトも補修用の減少を組み込みライン用でカバーし、売上高が増加しました。

欧州では、一般産業用ベルトの売上高は減少しましたが、自動車用ベルトは組み込みライン用の売上高が増加し、全体では微増となりました。

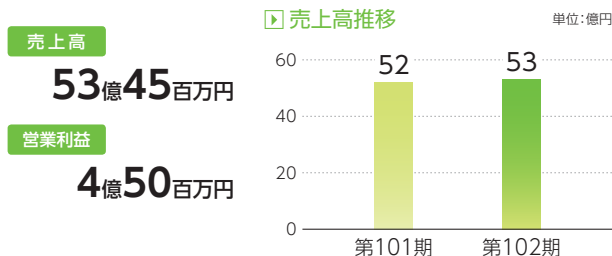
一方、アジアでは、自動車用ベルトは中国や東南アジアを中心に四輪車向け及び二輪車向けの売上高が好調に推移しました。また、一般産業用ベルトは、中国やタイにおいて農業機械向けの売上高が増加し、OA機器用ベルトも堅調に推移しました。

その結果、当事業の売上高は現地通貨ベースでは前連結会計年度を上回る結果となりましたが、為替が円高に推移していることにより、邦貨ベースでは減少し、売上高は294億99百万円（前連結会計年度比4.5%減）、営業利益は33億77百万円（前連結会計年度比19.8%増）となりました。



過酷な条件下でもすぐれた耐久性を発揮し、ベルトの横転を防ぎ、安定した伝動ができるマルチ(結合)タイプの“ラップドVベルト”

## 建設資材事業



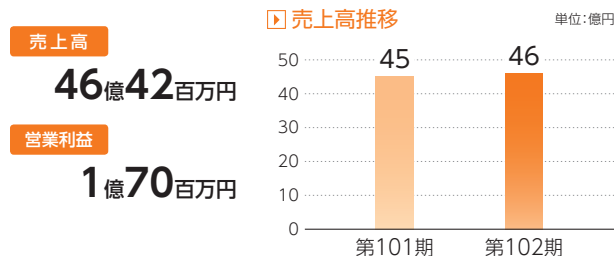
建築部門は建築防水業界の景況悪化の影響を受け売上高が減少しましたが、土木部門は廃棄物処分場関連の工事物件や、遮水シートの販売が好調に推移し、全体では売上高が増加しました。

その結果、当事業の売上高は53億45百万円（前連結会計年度比3.5%増）、営業利益は4億50百万円（前連結会計年度比121.2%増）となりました。



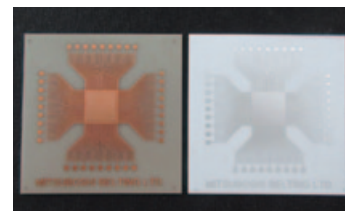
処分場で遮水シートとして使用される「ディスプレイナー・シリーズ」

## その他



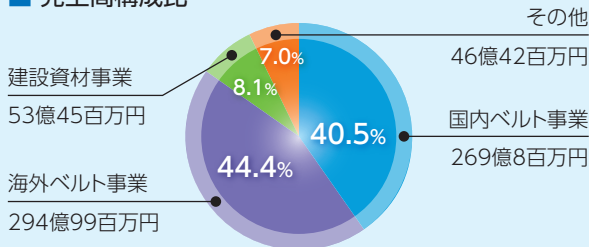
その他には、エンジニアリング ストラクチャルフォーム、金属ナノ粒子を応用した新製品、仕入商品等が含まれております。

その他の売上高は46億42百万円（前連結会計年度比3.5%増）、営業利益は1億70百万円（前連結会計年度比19.5%増）となりました。

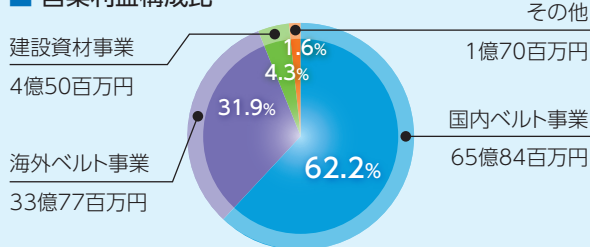


各種セラミックス基板に対応した三ツ星ペルトの導体ペースト。(左)「CUX®シリーズ」銅ペーストを用い形成した窒化アルミ基板回路配線。(右)「MDot®シリーズ」銀ナノ粒子ペーストを用い形成したアルミナ基板回路配線。

### 売上高構成比



### 営業利益構成比





物流用途樹脂ベルト『LOGISTAR®(ロジスター)』シリーズに、新しい製品が加わりました。

物流用途樹脂ベルト『LOGISTAR®(ロジスター)』シリーズから、食品衛生法に適合し、従来より厚みを薄くすることによって、屈曲性を向上させた「高性能傾斜搬送ベルト」を新たに発売いたしました。



ヘリンボーンパターン

# LOGISTAR®



(製品の特徴)

表面カバーに特殊ポリウレタンを採用し、当社独自のヘリンボーンパターン(杉綾文様)を組み合わせた事により、今までにない傾斜角度を上げた新機能を生み出しました。

(新機能)

1. 食品衛生法に適合
2. 傾斜角度30度の急傾斜搬送が可能
3. 小プーリ径コンベヤに対応

## 2017モバックショウ (国際製パン製菓関連産業展) に出展

当社は、平成29年2月22日～25日にインテックス大阪で開催された2017モバックショウ(国際製パン製菓関連産業展)に、神戸・北野の洋菓子店をイメージしたデザインのブースで出展しました。

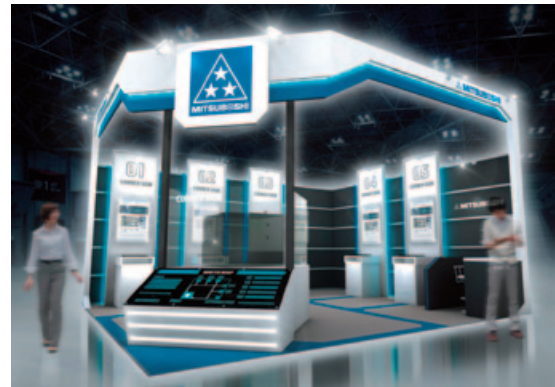
製パン・製菓製造ラインで要求される高い品質に対応した、鏡のような平滑な表面でふき取り清掃が容易な「鏡面ベルト」をはじめ、高機能な樹脂ベルト・樹脂製品をデモ機を用いて紹介しました。



## 第21回機械要素技術展 に出展

当社は、平成29年6月21日～23日に東京ビッグサイトで開催された第21回機械要素技術展に出展しました。

世界最高の伝動容量を備えた伝動ベルト「ギガトルクGX」、摩擦・磨耗特性が高く、メンテナンスフリー・制音化を実現する「キャストナイロン」など、伝動・金属・搬送・樹脂の各分野での高機能製品を、様々な産業分野の製品用途例と共に紹介し、新たな機械設計の可能性を提案しました。



ギガトルクGX



キャストナイロン



フリースパン®ベルト

# 連結財務諸表

## 連結貸借対照表の要旨

(単位：百万円)

### Point 1 流動資産

流動資産は、現金及び預金が14億59百万円増加したこと等により、前期末と比較して23億63百万円増加しました。

### Point 2 固定資産

固定資産は、有形固定資産の増加等により、前期末と比較して2億71百万円増加しました。

### Point 3 純資産

純資産は、自己株式の消却により資本剰余金が18億16百万円減少したものの、親会社株主に帰属する当期純利益の計上等により利益剰余金が52億37百万円増加した結果、前期末と比較して33億86百万円増加しました。

以上の結果、自己資本比率は前期末と比較して1.7ポイント上昇して70.2%となりました。

科目	前期 平成28年3月31日現在	当期 平成29年3月31日現在
<b>資産の部</b>		
<b>流動資産</b>	55,316	57,679
現金及び預金	24,803	26,262
受取手形及び売掛金	14,146	14,648
その他	16,366	16,769
<b>固定資産</b>	31,961	32,232
有形固定資産	20,382	20,759
無形固定資産	70	69
投資その他の資産	11,508	11,403
<b>資産合計</b>	<b>87,278</b>	<b>89,912</b>
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>	17,933	18,121
<b>固定負債</b>	9,594	8,654
<b>負債合計</b>	<b>27,527</b>	<b>26,776</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>	54,001	57,285
資本金	8,150	8,150
資本剰余金	3,927	2,111
利益剰余金	45,091	50,328
自己株式	△3,167	△3,305
<b>その他の包括利益累計額</b>	5,748	5,851
<b>純資産合計</b>	<b>59,750</b>	<b>63,136</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>87,278</b>	<b>89,912</b>

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



## 連結損益計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
<b>売上高</b>	<b>67,062</b>	<b>66,396</b>
売上原価	45,859	44,649
販売費及び一般管理費	13,572	13,468
<b>営業利益</b>	<b>7,630</b>	<b>8,278</b>
営業外収益	724	785
営業外費用	566	576
<b>経常利益</b>	<b>7,788</b>	<b>8,487</b>
特別利益	—	1,080
特別損失	—	161
<b>税金等調整前当期純利益</b>	<b>7,788</b>	<b>9,406</b>
法人税、住民税及び事業税	1,953	2,530
法人税等調整額	143	212
<b>当期純利益</b>	<b>5,691</b>	<b>6,663</b>
<b>親会社株主に帰属する当期純利益</b>	<b>5,691</b>	<b>6,663</b>

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。

## » Point 4 売上高

売上高は、国内・海外ともに堅調に推移したものの、為替が円高に推移したこと等により、前期と比較して6億66百万円減少し、663億96百万円となりました。

## » Point 5 営業利益

営業利益は、原材料価格の低下に加え、生産性アップの効果などから、前期と比較して6億48百万円増加の82億78百万円となりました。前期と比較して8.5%増となり、前期に続き過去最高の利益となりました。

## » Point 6 連結キャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して5億5百万円増加の92億16百万円の収入となりました。主な要因は、前期と比較して売上債権が7億1百万円増加した反面、税金等調整前当期純利益が16億18百万円増加したことによるものです。

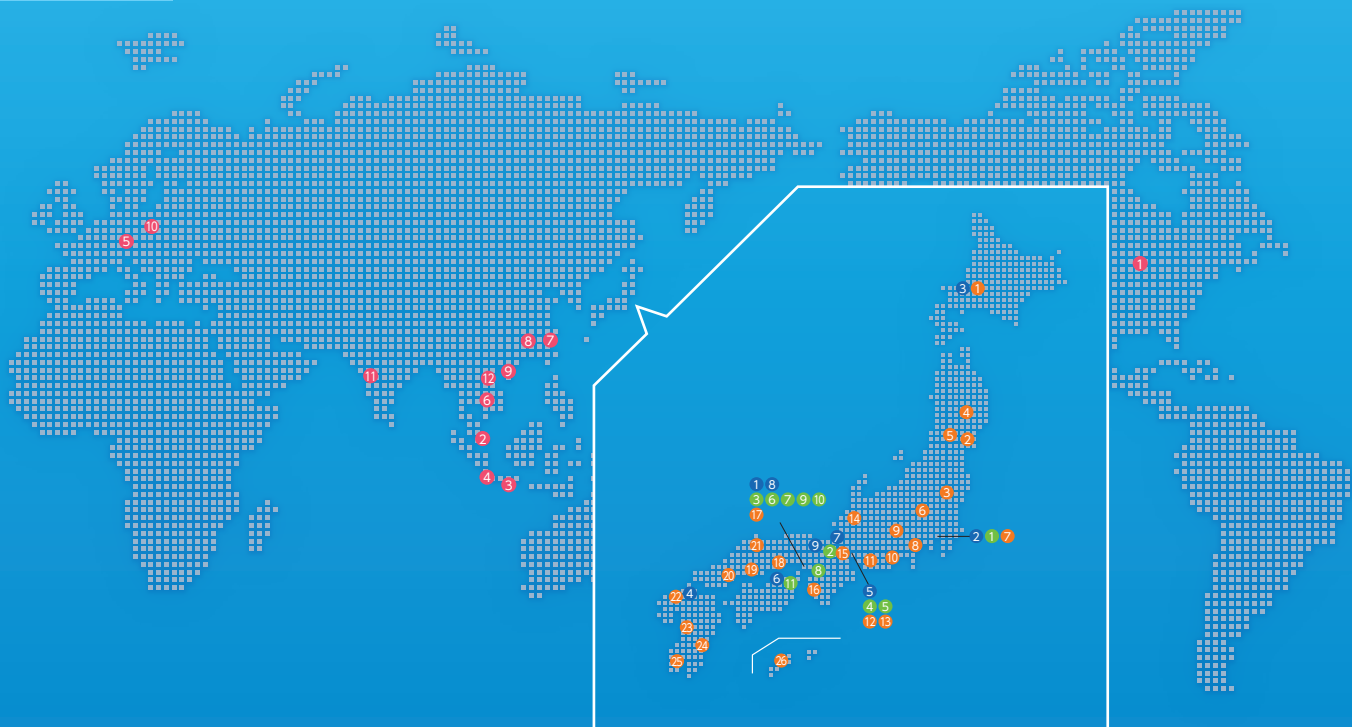
財務活動によるキャッシュ・フローは、前期と比較して67億57百万円減少の61億96百万円の支出となりました。主な要因は、前期と比較して長期借入金による収入が45億円減少したことに加え、自己株式の取得による支出が9億53百万円増加したことによるものです。

## 連結キャッシュ・フロー計算書の要旨

(単位：百万円)

科目	前期	当期
	平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで	平成28年4月1日から 平成29年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,711	9,216
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,436	△1,998
財務活動によるキャッシュ・フロー	561	△6,196
現金及び現金同等物に係る換算差額	△804	83
現金及び現金同等物の増加額	6,032	1,104
現金及び現金同等物の期首残高	17,979	24,011
現金及び現金同等物の期末残高	24,011	25,116

(注) 表示金額は、百万円未満を切り捨てております。



国内の生産・販売拠点

三ツ星ベルト株式会社

- ① 神戸本社
- ② 東京本社
- ③ 札幌営業所
- ④ 福岡営業所
- ⑤ 名古屋工場
- ⑥ 四国工場
- ⑦ 滋賀工場
- ⑧ 神戸事業所
- ⑨ 綾部事業所

三ツ星ベルトグループ会社

- ① 三ツ星ベルト販賣(株)
- ② 三ツ星コード(株)
- ③ 三ツ星ベルト工機(株)
- ④ 三ツ星ベルトコンベヤ(株)
- ⑤ 三ツ星ベルト樹脂(株)
- ⑥ 三ツ星ベルト技研(株)
- ⑦ 三ツ星物流工産(株)
- ⑧ ネオ・ルーフィング(株)
- ⑨ 神戸三ツ星サービス(株)
- ⑩ エムエムコート(株)
- ⑪ エム・ビ・エル・総合サポート(株)

三ツ星ベルト販賣株式会社

- ① 札幌営業所
- ② 仙台営業所
- ③ 郡山営業所
- ④ 盛岡営業所
- ⑤ 山形営業所
- ⑥ 北関東営業所
- ⑦ 東京営業所
- ⑧ 神奈川営業所
- ⑨ 山梨営業所
- ⑩ 静岡営業所
- ⑪ 浜松営業所
- ⑫ 名古屋営業所
- ⑬ 小牧営業所
- ⑭ 金沢営業所
- ⑮ 粟東営業所
- ⑯ 和歌山営業所
- ⑰ 神戸営業所
- ⑱ 岡山営業所
- ⑲ 福山営業所
- ⑳ 広島営業所
- ㉑ 松江営業所
- ㉒ 福岡営業所
- ㉓ 熊本営業所
- ㉔ 宮崎営業所
- ㉕ 鹿児島営業所
- ㉖ 沖縄営業所

海外の生産・販売拠点

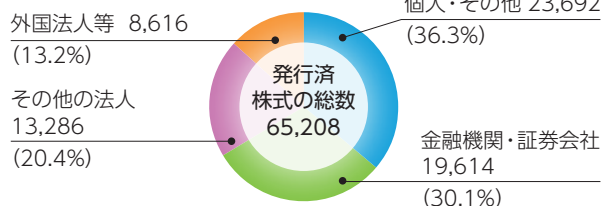
- ① MBL (USA) CORPORATION
- ② MITSUBOSHI OVERSEAS HEADQUARTERS PRIVATE LIMITED
- ③ P.T. SEIWA INDONESIA
- ④ P.T. Mitsuboshi Belting Indonesia
- ⑤ MBL Antriebstechnik Deutschland GmbH
- ⑥ STARS TECHNOLOGIES INDUSTRIAL LIMITED
- ⑦ 上海共星機帶國際貿易有限公司
- ⑧ 蘇州三之星機帶科技有限公司
- ⑨ MOI TECH HONG KONG LIMITED
- ⑩ MITSUBOSHI POLAND Sp. z o.o.
- ⑪ MITSUBOSHI BELTING-INDIA PRIVATE LIMITED
- ⑫ MITSUBOSHI BELTING VIETNAM CO., LTD.

## 株式の概況 (平成29年3月31日現在)

## 1. 株式

発行可能株式総数	325,213,000株
発行済株式の総数	65,208,397株
株主数	4,929名

## ■ 所有者別状況(千株)



(注) 個人・その他には自己株式4,687千株が含まれています。

## ■ 会社の概要 (平成29年3月31日現在)

商号	三ツ星ベルト株式会社 Mitsuboshi Belting Ltd.
創業	大正8年10月10日
設立	昭和7年10月10日
資本金	81億5,025万1,031円
従業員数	701名
営業品目	

- ベルト** 自動車用ベルト、一般産業用ベルト、OA機器用ベルト、搬送ベルト、その他ベルト
- 建設資材** 建築用防水シート、土木用遮水シート及び関連製品
- その他** エンジニアリング ストラクチュラル フォーム、その他

■ 事業場	神戸本社	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
	東京本社	東京都中央区日本橋2丁目3番4号 ☎(03)5202-2500代表
	札幌営業所	札幌市豊平区豊平二条3丁目1番17号 ☎(011)841-9135代表
	福岡営業所	福岡市博多区板付1丁目3番1号 ☎(092)441-4451代表
	名古屋工場	愛知県小牧市大字西之島1818番地 ☎(0568)72-4121代表
	四国工場	香川県さぬき市津田町津田2893番地 ☎(0879)42-3181代表
	滋賀工場	滋賀県高島市マキノ町寺久保100番地2 ☎(0740)27-0133代表
	神戸事業所	神戸市長田区浜添通4丁目1番21号 ☎(078)671-5071代表
	綾部事業所	京都府綾部市城山町7番1 ☎(0773)43-3051代表

## 2. 大株主 (上位10名)

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社	7,083	10.86
トヨタ自動車株式会社	2,355	3.61
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,340	3.59
星友持株会	1,894	2.91
日本マスタートラスト信託銀行株式会社	1,606	2.46
三ツ星ベルト社員持株会	1,501	2.30
三井物産株式会社	1,500	2.30
三菱UFJ信託銀行株式会社	1,372	2.10
大同生命保険株式会社	1,354	2.08
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,279	1.96

(注) 上記のほか当社所有の自己株式4,687千株があります。

## ■ 役員 (平成29年6月29日現在)

代表取締役 会長	西河紀男	常務執行役員	熊野格夫
代表取締役社長 兼社長執行役員	垣内一	常務執行役員	羽村健
取締役兼 常務執行役員	山口良雄	常務執行役員	佐々木孝
取締役兼 常務執行役員	中嶋正仁	常務執行役員	増田健吉
取締役兼 常務執行役員	小田芳裕	常務執行役員	池田浩
取締役兼 常務執行役員	片山孝	常務執行役員	森野峰雄
取締役	宇佐美貴史	常務執行役員	又場敬司
取締役	宮尾龍蔵	執行役員	陳振耀
		執行役員	伊藤辰雄
監査役 (常勤)	黒野正治	執行役員	倉本信二
監査役	奥島吉雄	執行役員	下村徹
監査役	橋本正幸	執行役員	熊崎敏美
監査役	大久保裕晴	執行役員	石田和利

(注) 1. 取締役宇佐美貴史及び宮尾龍蔵の両氏は、社外取締役です。  
2. 監査役橋本正幸及び大久保裕晴の両氏は、社外監査役です。

会計監査人 新日本有限責任監査法人

## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 単元株式数 1,000株
- 剰余金の配当の基準日 期末配当金 毎年3月31日 中間配当金 毎年9月30日
- 上場金融商品取引所 東京証券取引所
- 株主名簿管理人  
特別口座の口座管理機関  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同 連 絡 先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502  
大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話(通話料無料)0120-094-777
- 公 告 方 法 電子公告により行う。  
公告掲載ホームページは、[http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi\\_koukoku/index.html](http://www.mitsuboshi.co.jp/japan/denshi_koukoku/index.html)に掲載しております。  
なお、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

### (ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、左記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



当社ホームページでも、最新のIR情報をご案内しております。

[www.mitsuboshi.co.jp/](http://www.mitsuboshi.co.jp/)

UD FONT



この冊子の印刷には、環境に配慮した  
植物油インキを使用しています。